

平成 2 0 年度

# 財政援助団体監査報告書

仙北市監査委員

仙監発第 25 号  
平成 21 年 3 月 31 日

仙 北 市 長 石 黒 直 次 様  
仙 北 市 議 会 議 長 佐 藤 峯 夫 様  
仙 北 市 教 育 委 員 会 委 員 長 佐 久 間 健 一 様

仙北市監査委員 三 浦 一 平

仙北市監査委員 藤 原 助 一

平成 20 年度財政援助団体監査の結果について

地方自治法第 199 条第 7 項の規定により、平成 20 年度の財政援助団体監査を実施したので、その結果を同条第 9 項の規定により報告します。

# 目 次

第 1	監査の期間	1
第 2	監査の対象及び執行年月日	1
第 3	監査の方法	1
第 4	監査の結果	2
	仙北市芸術文化協会	3
	仙北市和牛生産改良組合	4
	山と湖を美しくする会	6
	田沢湖を美しくする会	8
	生保内流雪溝利用組合	10
	仙北市老人クラブ連合会	11
	仙北市納税貯蓄組合連合会	13

# 平成20年度財政援助団体監査報告書

## 第1 監査の期間

平成21年2月5日から同年2月12日まで

## 第2 監査の対象及び執行年月日

平成20年度の財政援助団体監査については、平成19年度に市が補助金、交付金等の財政的援助を与えた団体（財政援助団体）の中から次の団体を抽出し、監査を実施した。

執行年月日	監査対象団体	補助金等名称	所管部課等名
2月5日(木)	仙北市芸術文化協会	芸術文化協会補助金	教育委員会 文化財課
2月6日(金)	仙北市和牛生産改良組合	和牛生産改良組合活動費補助金	産業観光部 農林課
2月6日(金)	山と湖を美しくする会	山と湖を美しくする会清掃活動費補助金	産業観光部 観光課
2月6日(金)	田沢湖を美しくする会	田沢湖を美しくする会補助金	産業観光部 観光課
2月6日(金)	生保内流雪溝利用組合	流雪溝利用組合補助金	建設部 建設課
2月9日(月)	仙北市老人クラブ連合会	老人クラブ連合会活動費補助金	市民福祉部 福祉事務所長寿子育て課
2月9日(月)	仙北市老人クラブ連合会	高齢者健康づくり事業費補助金	市民福祉部 福祉事務所長寿子育て課
2月12日(木)	仙北市納税貯蓄組合連合会	納税貯蓄組合連合会補助金	総務部 税務課

## 第3 監査の方法

監査対象団体に係る出納その他事務の執行について、適正かつ効率的に行われているか、また、それに関する所管課等の事務が適正に執行されているかについて、関係諸帳簿の提出を求め、関係職員から説明を聴取し、その他必要と認められた監査手続きを実施した。

なお、監査における主な着眼点は下記のとおりである。

（財政援助団体関係）

- ・補助金等の交付申請書の提出及び補助金等の請求、受領は適時に行われているか。
- ・補助事業は、目的に沿って適正且つ効率的に執行されているか。

- ・補助金等に係る収支の会計経理は、適正に行われているか。
- ・補助金等の算定は、適正に行われているか。
- ・帳簿の整理、記帳は適正か。領収書等の証拠書類の整備、保存は適正に行われているか。

( 所管課等関係 )

- ・補助金等の財政援助の決定は、法令等に適合しているか。
- ・補助金交付要綱等は、整備されているか。
- ・補助金等の交付目的及び補助金等対象事業の内容は、明確にされているか。
- ・補助金等の額の算定、交付申請及び交付決定の時期、手続き等は適正に行われているか。
- ・補助金等の効果及び条件の履行の確認は、実績報告等によりなされているか。
- ・団体への指導監督は、適切に行われているか。
- ・補助金等の交付目的や効果等から判断して、統合、廃止等の見直しの必要がないか。

#### 第4 監査の結果

監査の結果、補助金の交付事務、出納その他の事務は概ね適正に処理されているものと認められたが、一部に改善を要する事項が認められたので、今後の事務処理に万全を期されたい。

財政援助団体等への補助金の交付目的は、公益上必要がある場合とされているが、交付団体の一部で、支出決算総額の50%強が会議費等（飲食費）の支出であった。市財政の厳しい折、補助目的、算定基準など更に点検するとともに、減額、廃止を含めた適正化の検討を要望する。

また、仙北市において、仙北市補助金等交付規則（平成17年規則第39号）を制定し、補助金等の交付事務の基本的事項を定めているが、具体的な補助金支出の補助目的、補助対象事業、補助対象経費、補助金算定基準等の個別事項は補助金交付要綱等を作成し、公益上必要である意義を明確にすべきである。

本監査対象補助金においては、補助金交付要綱等が未整備であったため、今後は補助金交付事務の明確化のため、速やかに補助金交付要綱等の整備を要望する。

各団体の概要等は、次のとおりである。なお、監査の際に見受けられた事務処理上留意すべき軽微な事項については、各課所長等に対して改善又は検討を要望したので、記述を省略した。

# 仙北市芸術文化協会

1. 補助金等の名称 芸術文化協会補助金
2. 担当部課等名 教育委員会 文化財課
3. 補助金等交付金額 500,000円
4. 補助金等交付年月日 平成19年7月20日
5. 補助金等交付根拠等 無
6. 事業の目的 仙北市における芸術文化団体の自主的活動の強化促進を図り、芸術文化の普及振興と市民文化の高揚に寄与することを目的とする。
7. 事業の内容 芸術文化の普及振興  
芸術文化に係る個人及び団体の表彰  
芸術文化に係る広報活動  
その他目的達成に必要な事項
8. 事業の効果・実績 (効果)  
仙北市芸術文化活動の強化促進が図られ、芸術文化の高揚に寄与することができた。  
(実績)  
仙北市芸術文化振興大会の開催、仙北市芸術文化章授章式典の開催、新春の集い開催、会誌「芸分仙北」第2号発刊、会報誌の発行
9. 平成19年度決算状況

収入の部		支出の部	
項目	決算額	項目	決算額
負担金	298,200	地域活動振興費	300,000
市補助金	500,000	文化章表彰費	63,902
繰越金	47,977	新春の集い	359,890
雑収入	887,837	振興大会費	445,300
		広報費	381,200
		会議費	72,419
		事務費	55,102
		負担金	50,000
合計	1,734,014	合計	1,727,813
翌年度繰越額(収入合計 - 支出合計)		6,201	

# 仙北市和牛生産改良組合

1. 補助金等の名称 和牛生産改良組合活動費補助金
2. 担当部課等名 産業観光部 農林課
3. 補助金等交付金額 650,000円
4. 補助金等交付年月日 平成19年7月30日
5. 補助金等交付根拠等 無
6. 事業の目的 和牛飼育農家の経営基盤拡充と和牛の改良増殖、登録事業の円滑化及び組合員の相互の融和と飼育技術向上を図る。
7. 事業の内容 和牛健康検査（空胎防止・予防接種等、年4回）  
全国和牛登録協会、仙北和牛改良推進組合等の加入取りまとめ  
畜産共進会の出品届け出  
視察研修会、新春和牛講習会、受胎率向上講習会等の開催
8. 事業の効果・実績 年間販売額及び頭数  
約16,633万円 339頭（去勢10,589万円 201頭、雌6,044万円 138頭）  
第2回大仙・仙北・美郷畜産共進会出品  
第1部肉用牛31頭（内5頭優等賞受賞）第3部肥育牛4頭  
第91回秋田県畜産共進会出品  
第1部肉用牛 第2・3類（若雌）1頭 第5類（親子群）2頭  
第9回全国和牛能力共進会出品  
第5区（繁殖雌牛群）1頭 第9区（去勢肥育牛）1頭（優等賞受賞）  
視察研修  
大仙市西仙北地区、全農いわて中央家畜市場

9. 平成19年度決算状況

収入の部		支出の部	
項目	決算額	項目	決算額
年会費	345,000	組合運営費	199,600
補助金・助成金	793,000	総会費	138,600
市補助金	650,000	会議費	61,000
仙北農業共済組合	75,000	事業費	909,753
J A 秋田おばこ	68,000	衛生管理指導費	110,710
繰越金	61,504	改良普及費	303,843
雑収入	71,039	改良促進費	300,200
		支部費	170,000
		予備費	25,000
合計	1,270,543	合計	1,109,353
翌年度繰越額(収入合計 - 支出合計)			161,190

10. その他 行政を補完する等の団体である。

11. 要望事項 支出決算総額の50%強が会議費等(飲食費)の支出であった。市財政の厳しい折、補助目的、算定基準など更に点検するとともに、補助金交付並びに団体への指導監督の適正化を要望する。

# 山と湖を美しくする会

1. 補助金等の名称 山と湖を美しくする会清掃活動費補助金
2. 担当部課等名 産業観光部 観光課
3. 補助金等交付金額 1,420,000円( 県補助金133,350円、市補助金1,286,650円)
4. 補助金等交付年月日 平成19年6月29日
5. 補助金等交付根拠等 無
6. 事業の目的 仙北市最大級の観光資源である田沢湖の美しい自然を保持するため、湖畔周辺の清掃活動( 環境整備 )を行い、公園利用者が健康で快適に利用できる公園づくりを目的とする。
7. 事業の内容 公園の自然保護、美化清掃及び環境整備  
公園内歩道、標識等の整備補修  
公園利用者の自然保護思想及び清掃思想の普及  
以上に基づき、田沢湖周辺( 園地 )の駐車場、公衆トイレ( 周辺施設 )の利用状況を考慮し、快適に使用できるよう計画的に清掃作業( 草刈り等 )を行う。
8. 事業の効果・実績 公衆トイレの日常管理や園地周辺の清掃、草刈りなどを重点的に行っていることから苦情は特にはない。  
しかし、外国人観光客の増加に伴うゴミ捨てやトイレの使用マナーは悪化の傾向にあり、今後は更に清掃活動に要する人件費や消耗品経費などが増えるものと考えられる。  
今後も利用者が快適に過ごせる環境づくりを継続していくとともに、訪れた観光客とのふれあいを通じて環境保全の重要性を喚起したい。

9 . 平成 1 9 年度決算状況

収入の部		支出の部	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
会 費	528,000	事 務 費	110,594
市 補 助 金	1,420,000	賃 金	1,461,420
雑 収 入	30,189	消 耗 品 費	215,537
繰 越 金	146,716	燃 料 費	153,441
		使 用 賃 借 料	102,065
		保 険 料	47,557
		手 数 料	12,600
合 計	2,124,905	合 計	2,103,214
翌年度繰越額 (収入合計 - 支出合計)			21,691

市補助金の内、133,350円が県補助金分である。

- 10 . そ の 他 本会は平成 2 0 年度から田沢湖を美しくする会と合併し、新清掃団体「田沢湖を美しくする会」を設立している。

# 田沢湖を美しくする会

1. 補助金等の名称 田沢湖を美しくする会補助金
2. 担当部課等名 産業観光部 観光課
3. 補助金等交付金額 1,670,000円( 県補助金133,350円、市補助金1,536,650円 )
4. 補助金等交付年月日 平成19年4月27日
5. 補助金等交付根拠等 無
6. 事業の目的 仙北市最大級の観光資源である田沢湖の美しい自然を保持するため、湖畔周辺の清掃活動( 環境整備 )を行い、公園利用者が健康で快適に利用できる公園づくりを目的とする。
7. 事業の内容 公園の自然保護、美化清掃及び環境整備  
公園内歩道、標識等の整備補修  
公園利用者の自然保護思想及び清掃思想の普及  
以上に基づき、田沢湖周辺( 園地 )の駐車場、公衆トイレ( 周辺施設 )の利用状況を考慮し、快適に使用できるよう計画的に清掃作業( 草刈り等 )を行う。
8. 事業の効果・実績 公衆トイレの日常管理や園地周辺の清掃、草刈りなどを重点的に行っていることから苦情は特にはない。  
しかし、外国人観光客の増加に伴うゴミ捨てやトイレの使用マナーは悪化の傾向にあり、今後は更に清掃活動に要する人件費や消耗品経費などが増えるものと考えられる。  
今後も利用者が快適に過ごせる環境づくりを継続していくとともに、訪れた観光客とのふれあいを通じて環境保全の重要性を喚起したい。

## 9. 平成19年度決算状況

収入の部		支出の部	
項目	決算額	項目	決算額
会費	75,000	事務費	1,350
市補助金	1,670,000	会議費	1,350
雑収入	173,898	事業費	1,677,458
繰越金	86,962	賃金	1,522,780
		報償費	5,000
		需用費	122,798
		保険料	25,320
		通信費	1,560
合計	2,005,860	合計	1,678,808
翌年度繰越額(収入合計 - 支出合計)		327,052	

市補助金の内、133,350円が県補助金分である。

10. その他
- ・ 行政を補完する等の団体である。
  - ・ 本会は平成20年度から山と湖を美しくする会と合併し、新清掃団体「田沢湖を美しくする会」を設立している。

# 生保内流雪溝利用組合

1. 補助金等の名称 流雪溝利用組合補助金
2. 担当部課等名 建設部 建設課
3. 補助金等交付金額 362,000円
4. 補助金等交付年月日 平成20年4月30日
5. 補助金等交付根拠等 無
6. 事業の目的 流雪溝の利用運営により仙北市生保内の町内の防雪機能の充実、交通の安全確保などに貢献する。
7. 事業の内容 冬期の交通の確保と雪害防止、相互の協力体制及び連絡調整を行い流雪溝の利用を円滑にする。
8. 事業の効果・実績 流雪溝の利用運営により、仙北市生保内の町内の防雪機能の充実、交通の安全確保などに貢献している。
9. 平成19年度決算状況

収入の部		支出の部	
項目	決算額	項目	決算額
組合費	619,000	総会費・役員会費	61,700
市補助金	362,000	通水経費	418,000
繰越金	281,668	保険料	26,720
雑収入	405	謝礼	20,000
		事務費	15,558
		借上料	24,000
		指導員設置費	80,000
		仮払金	138,400
		燃料費	17,600
		予備費	35,000
合計	1,263,073	合計	836,978
翌年度繰越額(収入合計 - 支出合計)			426,095

10. 要 望 事 項 翌年度繰越金の額が市補助金を上回っており、公益性の見地から、補助金交付額を減額する等適切に処理していただきたい。

# 仙北市老人クラブ連合会

## (1) 老人クラブ連合会活動費補助金分

1. 補助金等の名称 老人クラブ連合会活動費補助金
2. 担当部課等名 市民福祉部 福祉事務所 長寿子育て課
3. 補助金等交付金額 395,024円
4. 補助金等交付年月日 平成19年6月20日
5. 補助金等交付根拠等 無
6. 事業の目的 各単位老人クラブ会員との教養、保健福祉、交流等に、また地域社会における諸活動事業として日常生活を健全で豊かなものへ向けて、生きがいと健康づくりに社会奉仕等多様な活動事業を行い、クラブ員相互の親睦を図り地域の発展に寄与すると共に、明るい長寿社会の実現と保健福祉に資することを目的とする。
7. 事業の内容 総会、役員会等の開催及び研修会の実施、老連開催の諸行事参加、あやめ園整備（花葉館）やスポーツ競技の実施、世代間交流、スポーツ交流、奉仕活動を通じて地域社会に貢献する。
8. 事業の効果・実績 諸事業を通じて会員間の連帯意識の高揚が見られ、更に研修会やスポーツ行事等の参加により集団的奉仕意識の高揚が顕著である。

## (2) 高齢者健康づくり事業費補助金分

1. 補助金等の名称 高齢者健康づくり事業費補助金
2. 担当部課等名 市民福祉部 福祉事務所 長寿子育て課
3. 補助金等交付金額 614,000円
4. 補助金等交付年月日 平成19年6月20日

5. 補助金等交付根拠等 無

6. 事業の目的 老人クラブ会員の健康増進、介護予防、会員相互の親睦を図り、日頃の運動不足を解消し地域会員との親睦を深め会員自らが心身の健康を維持、活性を図るために取り組む基盤になることを目的とする。

7. 事業の内容 高齢者自ら生きがいと健康づくりの重要性を認識且つ、活動を通じて心豊かな地域社会づくりを目指し、各地域各世代との共生、交流を通じて高齢者の意欲と姿勢を示していくことを目的とする。

8. 事業の効果・実績 諸事業を通じて会員間の連携意識の高揚が見られ、更に研修会やスポーツ行事等の参加により集団的奉仕意識の高揚が顕著であり、事業を適正且つ円滑に運営していくことで地域社会にも貢献している。

(3) 平成19年度仙北市老人クラブ連合会決算状況

収入の部		支出の部	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
会 費 収 入	450,000	事 務 費	585,012
市 補 助 金	3,337,024	会 議 費	284,584
活 動 費 補 助 金	201,024	旅 費	13,600
特 別 活 動 費 補 助 金	194,000	交 際 費	10,000
健 康 づ け り 事 業 費	614,000	諸 費	36,828
単 位 ク ラ ブ 活 動 費	2,328,000	給 料	240,000
助 成 金	115,800	事 業 費	1,096,867
寄 附 金	20,000	大 会 開 催 費	246,367
繰 越 金	109,469	研 修 費	236,500
諸 収 入	670,978	健 康 づ け り 費	614,000
預 金 利 子	248	負 担 金	2,989,024
雑 収 入	670,730	県 老 連	400,000
		単 位 ク ラ ブ	2,328,000
		地 区 老 連	261,024
		雑 費	5,000
		予 備 費	20,000
合 計	4,703,271	合 計	4,695,903
翌年度繰越額(収入合計 - 支出合計)			7,368

市補助金の内、1,098,375円が国県補助金分である。

# 仙北市納税貯蓄組合連合会

1. 補助金等の名称 納税貯蓄組合連合会補助金
2. 担当部課等名 総務部 税務課
3. 補助金等交付金額 300,000円
4. 補助金等交付年月日 平成19年7月30日
5. 補助金等交付根拠等 無
6. 事業の目的
- ・ 納税貯蓄組合連合会  
納税貯蓄組合の普及拡充及びその内容の充実。納税についての認識を深めるとともに合理化を図ることを目的とする。
  - ・ 地区納税貯蓄組合  
税の収納と納付率の向上、地域住民の納税思想の普及、税の完納意識の高揚を図る。
7. 事業の内容
- ・ 納税貯蓄組合連合会  
地区連への未組織地域の組合設立奨励、地区連の指導及び育成、市政との連絡調整及び地区連への伝達等。
  - ・ 地区納税貯蓄組合  
市税納付書等の配布及び収納等。
8. 事業の効果・実績
- (効果)
- 納税貯蓄組合の租税に対する意識を深め、組合相互の連絡協調を図り、税金の意義と納税思想の啓発を図ることにより、納付実績の向上が得られる。
- (実績)
- 仙北市納税貯蓄組合は、344組合6,068世帯で、納税貯蓄組合取扱税額が市税の大半を占めている。
- 19年度一般税取扱額：905,138,800円
- 19年度国保税取扱額：720,953,600円

## 9. 平成19年度決算状況

収入の部		支出の部	
項目	決算額	項目	決算額
県補助金	200,487	会議費	154,400
市補助金	300,000	事務費	67,620
繰越金	214,713	事業費	168,244
雑入	248	負担金	106,500
合計	715,448	合計	496,764
翌年度繰越額(収入合計 - 支出合計)		218,684	

10. その他 行政を補完する等の団体である。

11. 要望事項 翌年度繰越金が多額となっており、公益性の見地から、活動のあり方を検討していただきたい。